

利根町教育委員会定例会会議録

平成 31 年 1 月 30 日 午後 4 時 30 分開会

1. 出席委員

教 育 長	杉 山 英 彦 君
教育長職務代理者	武 谷 昭 子 君
委 員	佐 藤 忠 信 君
委 員	石 井 豊 君
委 員	長 岡 純 子 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	大 越 克 典 君
指 導 室 長	直 井 由 貴 君
生涯学習課長補佐	田 口 輝 夫 君
学校教育課長補佐	河 村 明 君
学校教育課係長	布 袋 哲 朗 君

1. 議 事 日 程

議 事 日 程

平成 31 年 1 月 30 日 (水曜日)

午後 4 時 30 分開会

- 日程第 1 報告第 1 号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等について
日程第 2 その他 小中学校の卒業式・入学式について
「学校給食費について」のアンケート調査 (案) について

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第 1 報告第 1 号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等について
日程第 2 その他 小中学校の卒業式・入学式について
「学校給食費について」のアンケート調査 (案) について

午後 4 時 30 分開会

○教育長（杉山英彦君） お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。私の都合により日程，時間等の変更があり，遅い時間からの始まりで大変申しわけございません。

会議に入ります前に，平成 31 年 1 月 1 日より，長岡純子氏が新たに教育委員に任命されましたので，ご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○委員（長岡純子君） こんにちは。長岡純子と申します。よろしくお願ひいたします。

今，本当に世の中がどんどん進化して，それでいて少子・高齢化の問題もあって，社会情勢，教育情勢が目まぐるしく変化していく中で，教育は社会の先端に行くべきだと思ひていて，教育委員会の役割というのはとても大きいと思ひます。その中で私も教育委員の一員として，少しでもお役に立てたらうれしいなと思ひますので，よろしくお願ひいたします。

○教育長（杉山英彦君） ありがとうございます。

○教育長（杉山英彦君） それでは，ただいまより平成 31 年 1 月の教育委員会定例会を開催いたします。

最初に，私のほうから報告させていただきます。

学校の現状といたしまして，インフルエンザが非常に流行っているということで，学年閉鎖等に対応している学校もございます。また，職員の体調管理についても教育委員会から指示し，休養をとりながら学校活動を十分にやっただくように進めております。

利根町以外の地域では，子どもがインフルエンザで休むのではなくて，先生方がインフルエンザになって休み，授業ができなくて学校閉鎖になってしまっているような現状もあるようです。インフルエンザが非常に流行っておりますので，きょうご参会の皆様方も十分体調管理に気をつけていただきたければなと思ひます。

それから，先週，利根中学校の 1 年生のスキー学習が無事終了したという報告がありました。もうすぐ 2 月になり 3 学期の山場になるわけですがけれども，学力向上，それからいろいろな行事等について十分に取組をいただいているような状況でございます。

それでは，審議に入りたいと思ひます。きょうご審議いただく議案は，報告が 1 件ございます。

○教育長（杉山英彦君） 日程第 1，報告第 1 号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等についてを議題といたします。

担当課長に説明を求めます。

○生涯学習課長補佐（田口輝夫君） それでは，報告第 1 号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等についてご説明いたします。

別表 1 をお願ひいたします。平成 30 年度生涯学習センターの利用状況ということで，前

期4月から9月分でございます。平成30年度の9月までの利用状況につきましては、合計で692回、述べ人数で1万37人の利用がありました。前年度と比較しましては、264人の増ということになっております。

次の別紙2のほうをお願いいたします。こちらは平成30年度の利根町公民館の利用状況で、同じく前期分でございます。

9月までの利用状況につきましては、合計で948回、1万6,400人の利用がありました。前年度比では、利用人数が181人の増ということで、こちらも増になっております。

次に、家庭教育セミナー事業ですけれども、ご承知のとおり茨城県では、教育長直轄の組織ということで、就学前教育・家庭教育推進室というものが組織されまして、家庭教育に力を入れていこうということで、幼児教育と小学校教育の円滑な接続、そういったものを含めた家庭教育学級をこれから実施していこうということで、推進をしているところです。

利根町の組織体制といたしましては、公民館の社会教育指導員に家庭教育の事業を担当していただいております。

事業について簡単にご説明いたします。

「家庭教育セミナー事業」ということで、現在、25名の登録があります。小中学校の児童生徒の保護者を対象に実施しておりまして、セミナーの内容につきましては、講演会で「折れない心をどう育てるか」、体験学習で「雪印なるほどファクトリー」、施設の見学、それと実技研修で「ストレッチの健康体操」など4回ほど実施をしました。

次に、「出前家庭教育セミナー事業」ということで、9月までに各小学校のほうに担当の社会教育指導員が出向きまして、小学4年生児童の保護者を対象に、家庭教育ブック「つばさ」による講座を実施しております。対象者の合計が89名で、各学校1回ということで実施をし、45名の保護者に参加していただいております。

最後になりますが、別表3をお願いいたします。平成30年度の図書館の利用状況になりまして、こちらは4月から10月までの統計になっております。図書館の貸出冊数が7万1,527冊で1日の平均にすると418冊ということになります。

貸出人数につきましては、1万7,573人で、1日平均103名になっております。なお、一番右側の項目に、「うちネット予約」というのがありますが、こちらの利用者数が今年になって非常に増えておりまして、335名ということで、去年と比べますと121%となっております。こちらにつきましては、図書館の窓口で、お客様のメールアドレスを登録していただき、IDパスワードを交付してもらい、本の予約ができるというようなシステムでございまして、毎年、利用者数が増えている状況です。

以上、簡単に申し上げました。

○教育長（杉山英彦君） 説明が終わりました。

何かご意見、ご質問ございますか。

○委員（長岡純子君） 家庭教育セミナーというのは、とても素晴らしいと思います。今の時代、お母さんたちもいろいろ模索しながら子育てしていると思うのですが、人数が少ない

など思っ、て、すごく残念な気がするの、で、参加者がもう少し増えないものでしょうか。

とてもいい内容だと思うので、もうちょっと参加してほしいと思いますけれども。

○生涯学習課長補佐(田口輝夫君) 毎回やはり参加者数については、やはり共働きになっている方もいらっしゃると思いますが、非常に少ないというような状況です。なかなか申し込みされる父兄の方が少なく、特に、今年は登録者数も25名という少ない状況です。

家庭教育については、先ほどお話ししましたとおり、茨城県で非常に力を入れているというような事業になっています。利根町では学校ごとではなくて、小中学校4校を一つとして事業を実施しております。各学校に募集のお願いをして、チラシを配ってもらっているのですが、なかなか集まらないという状況がございます。

○委員(長岡純子君) 各学校単位では、人数が少ないのでやっていけないということですよ。

○生涯学習課長補佐(田口輝夫君) 実は、茨城県に就学前教育・家庭教育推進室ができたときに、利根町に県から訪問指導がありまして、利根町のように実施している市町村はないそうです。

利根町は、公民館の社会教育指導員が担当しているということですが、他の市町村については、各学校単位で、担当の先生が1人いらっしゃる、PTA、その他子ども会等と協力、連携しながら、家庭教育の教室を実施しているそうです。

利根町は、単独、学校単位ではないので、どうしても学校の協力ができないので、例えば、今度小学校に上がる子どもたちの父兄のための説明会があるときに、社会教育指導員の先生がお邪魔して、家庭教育のブックを使ったお話をするなど、なるべく学校の行事に参加するという形でないとなかなか募集して集まらないので、そういった学校の行事に合わせて、講話するというような形をとっております。

○教育長(杉山英彦君) ほかに、ございますか。

○委員(石井 豊君) 生涯学習センター及び公民館の利用状況ですが、これについては、文化協会とか既存の団体が主で、ほとんどが減免を受けている団体の利用ということですか。

○生涯学習課長補佐(田口輝夫君) ほとんどがそうです。

公民館も生涯学習センターもほぼ割合は一緒ですが、約80%が体育協会、文化協会の加盟団体の方で、残りの約20%が一般団体の方になります。

ほとんど1年間を通して活動されているのは、定期的利用団体ということで、公民館、または生涯学習センターが認めた団体となっております。この団体は、特別に申し込みについて優遇されておりまして、公民館については3カ月先まで、生涯学習センターについては、1年間予約できるというようなシステムになっていまして、生涯学習活動をする団体については、町としても支援していこうという意味で、優遇措置をしております。

○委員(石井 豊君) ありがとうございます。それについてなんですけれども、以前の教育委員会で、社会教育施設から地方自治法施設に見直すと利用料金の見直しなど、規約の

見直しを検討しているといった話があったのですが、どのような状況になっているのか教えていただけませんか。

○生涯学習課長補佐（田口輝夫君） 社会教育関係5委員会を1月23日に開きまして、その中で答申のほうを一応まとめていただいて、何とか決まりました。

内容的には、公民館については、先ほどお話があったとおり、生涯学習センターと同じ地方自治法の施設へというような形で答申がまとまりました。

○教育長職務代理者（武谷昭子君） 前回私が申し上げたのは、規約を考えてくださるといふときの問題になったのは、申し込みが公民館使用3カ月前というのを、6カ月ぐらい前に、毎回じゃなくて、ホールを使うときに、ポスター・チラシの作成準備がやっぱり3カ月では足りないから、6カ月あると便利という意見がありまして、お尋ねしたのですが、それに関しては何かございますか。

○生涯学習課長補佐（田口輝夫君） そのお話もちよっと出まして、やはり公民館のホールを使って何百人というお客様を呼ぶ場合には、とても3カ月では、募集をするポスターの作成など間に合わないというような要望がありましたので、それはなるべく6カ月でできるような方向で考えていきたいと思えます。

○教育長職務代理者（武谷昭子君） わかりました。ありがとうございます。

○教育長（杉山英彦君） ほかに、ございますか。
よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） では、報告第1号 教育長に委任された事務の管理及び執行状況等については、原案のとおり承認いたします。

○教育長（杉山英彦君） 続きまして、日程第2 その他。

小中学校の卒業式・入学式について、担当課から説明願います。

○学校教育課長（大越克典君） それでは、小中学校の卒業式・入学式についてですが、例年、年度末、年度初めのお忙しい時期に出席していただいております。

それで、誰がどの学校に出席していただくか決めていただければと思いますので、担当より説明させます。よろしく願いいたします。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 私のほうから説明させていただきます。まず中学校の卒業式ですが、3月13日（水）の午後からになりまして、教育長、教育委員全員出席ということでお願いいたします。祝辞につきましては、教育長にお願いをいたします。

小学校の卒業式が3月19日（火）の午前中になります。時間のほうは各学校、若干違いますので、案内状をご確認していただければと思います。出席される学校を決めたいと思いますが、参考といたしまして、過去5年間の出席表を載せております。順番が、教育長の場合は、文小学校、布川小学校、文間小学校に来て、また、布川小学校、文小学校の順になりますので、ことしは、布川小学校でお願いしたいと思えます。

教育委員につきましては、文間小学校、布川小学校、文小学校の順番でお願いしたいと思いますので、佐藤委員が文小学校、武谷委員が布川小学校、石井委員と長岡委員は今回初めてということで、お二人に文間小学校ということでお願いしてよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課係長（布袋哲朗君） それで、小学校の卒業式の祝辞のほうで、教育委員にお願いをしているのですが、文小学校は佐藤委員、布川小学校は武谷委員、文間小学校は長岡委員に今回ご挨拶をよろしくお願いします。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 後日、過去の原稿をご自宅にお届けしますので、修正、追記等をしていただいで提出していただければ、こちらで祝辞用紙に印刷します。

できましたら、次回の2月の教育委員会の方に持ってきていただければと思いますので、よろしくお願いします。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 続きまして、裏の面をご覧ください。

入学式ですけれども、小学校・中学校、両方とも4月9日（火）で、小学校が午前中、中学校が午後という形になっています。

こちらのほうは、昨年、教育長のほうが布川小学校だったので、今回は文小学校のほうで出席をお願いいたします。

入学式は決まりが特にないので、出席できる委員の方をお願いをしたいのですが。

○委員（佐藤忠信君） 済みません、高校の入学式とかぶっていて、申し訳ありません。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） そうしましたら、入学式は、卒業式と同じ学校でもよろしいですか。

そうすると、文小学校が佐藤委員で、もし出席できなくても教育長が出席ということで、祝辞等の挨拶もないのでよろしいでしょうか。

○委員（佐藤忠信君） はい、わかりました。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 布川小学校は武谷委員で、文間小学校のほうに石井委員と長岡委員で、石井委員が仕事で都合つかなくても、長岡委員が出席ということで、入学式は祝辞等の挨拶もないのでよろしいでしょうか。

○委員（長岡純子君） わかりました、はい。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） それでは、各学校のほうにこの出席者で報告させていただきますので、よろしくお願いします。

○教育長（杉山英彦君） よろしいでしょうか。

それでは、小中学校の卒業式・入学式については、この内容でよろしく申し上げます。

続きまして、「学校給食費について」のアンケート調査（案）について、担当課から説明願います。

○学校教育課長（大越克典君） 続きまして、「学校給食費について」のアンケート調査（案）

についてご説明いたします。

当初は、小中学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査の実施について（案）ということで、これからアンケート調査を実施したいというふうに考えていますが、適正規模・適正配置に関してのアンケートはもう少し時間をいただき、次回説明させていただきますので、今回は学校給食費についてのアンケート調査（案）についてご説明をさせていただきたいと思います。皆様のお手元に配ってあります「学校給食費について」というのを見ていただければと思います。

学校給食費の推移ですが、平成元年4月の消費税3%の導入による値上げや、平成5年度の物価高騰による値上げ、また、平成9年4月の消費税率5%の改定による値上げを行ってまいりました。

しかし、それ以降は、現在まで物価上昇による食材の高騰や平成26年4月の消費税8%の改定がありましても、給食費を据え置き、献立内容の工夫等により運営を行ってきております。このようなことから、今後は給食費の見直しや給食費の管理を町に移行したいと思っております。保護者にアンケートをとりたいと考えております。

次のページをめくっていただきますと、給食費に関するアンケート調査（案）としまして、8問ほど考えております。

まず、問1、「食材の購入にかかる経費のみを「給食費」として保護者の皆様にご負担していただき、施設設備や光熱水費、その他の経費などは町で負担していることをご存じでしたか」という設問になります。

問2といたしましては、「「給食費」は夏休みの8月を除く11ヶ月分を保護者の皆様にも負担していただいていることをご存じでしたか」ということでの設問です。

問3は、「学校給食費の料金の額について、どのように思われますか」という設問で、現在、月額、小学校は4,030円、中学校は4,600円ということで、それに対してどのように思われているかということで、「安い」、「適当」、「高い」、「わからない」という四つの中から選んでいただくような設問です。

問4に関しましては、「消費税率の改定などに伴う食材価格の高騰が予測される中、食材費を抑制して学校給食を実施する現状に対して、どのような対策が必要と思いますか。あなたの考えに近いものを一つお答えください」ということで、三つほど例を挙げて選んでいただくような形でございます。

問5に関しましては、「「給食費」の会計が学校毎に処理されていることをご存知でしたか」ということでの設問です。

問6は、それに関しまして、「今後、「給食費」の会計を町の歳入歳出予算で管理し、安定した給食を提供することに対してどのように思いますか、一つお答えください」ということで、五つの中で選んでいただくような設問です。

問7に関しましては、「学校給食への地元食材（茨城県産を含む）の使用を推進しておりますが、今後どのようにするべきか、あなたの考えに近いと思われるものを一つお答えくだ

さい」ということで、五つの中で選んでいただくような設問です。

問 8 に関しましては、「あなたは、今後の学校給食に特に何に期待されますか」という、これは「複数回答可」ということで五つほど設定しております。

また、最後に自由意見としまして、「何か学校給食に対して要望等があれば記入ください」という内容になっております。

今後、小中学校の保護者へアンケート調査を実施したいと考えておりますので、教育委員の皆様の方から何かご意見、ご質問等があればお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

○教育長（杉山英彦君） 何かアンケートについて委員からございますか。

○委員（石井 豊君） 問 6 の、各学校から町の歳入歳出予算で管理ということですが、給食費を一般会計に入れて、歳出予算で支払う形ですか。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 今、ちょっと考えているのが、財政的に会計システム等は入れられないと思うので、給食費の徴収自体は学校のほうにお願いをして、学校で集めていただいたお金をそっくりそのまま町の会計に入れていただいて、支払いは町のほうから一括して行うというようなことを考えております。

学校ごとに児童生徒数が違うので、食材が高かったり安かったりという、その辺の不均等をできるだけ同じような形にして、同じものを提供するというで考えています。

○委員（石井 豊君） そうすると食材等は、一括して町で購入するのですか。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 実は一括購入のほうは、なかなか難しいと思っております。ですので、購入の業者については、基本的に今までどおりで考えています。食材は各学校で発注して、購入したかどうかの請求書等のチェックをして、町に回してもらい支払いをするように考えています。

○委員（石井 豊君） この新年度、31 年度からの実施ですか。

○学校教育課長（大越克典君） このアンケートは、小中学校の適正規模・適正配置のアンケートをこれから実施する予定ですけれども、その後ろに、給食費のアンケートを入れて、併せてアンケートを一緒にとらせていただいて、消費税の改定が 32 年の 10 月にあるので、その後導入できればと思っております。

○委員（石井 豊君） 再来年度になるのかな。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 再来年度に導入できればと思っております。

○委員（石井 豊君） 最初の文言、この意味ですけれども、「推移」というところで、3 行目ですか、「それ以降は」というところ、「物価上昇による食材の高騰や平成 26 年 4 月の消費税 8%の改定」というのが載っていますが、10%のことは載ってないですが。今後、消費税が上がったら改定するよという意味、捉え方でいいですか。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 食料品については軽減税率の対象になりますので、10%についての文言は載せていません。ですので、あくまでもこのご意見をいただいて、これは当然、町の会計に入れるとなると町の方針、町長の施策にもなってしまうので、このア

ンケートを踏まえて町部局のほうに打診するような形で、10%になったときに、消費税が上がったから給食費を多少上げなさいという指示が来るのか、その辺は何とも言えないところですが、ただ、アンケートをとっておかないと保護者の意向がわからないということで、併せて実施します。

○委員（石井 豊君） そういう形の基礎資料となるのは、アンケートがかなり必要かと思うので、このような形でやっていただければと思います。

○委員（佐藤忠信君） このアンケートの中の問4で、「消費税率の改定などに伴う食材価格高騰」とあるのですが、今、世間一般では、普通に野菜が高騰していて、学校ごとに給食をきちんと賄えないという学校も出てきているようで、利根町に関しては特に問題はないですか。

普通に野菜が高騰した場合に、当然この給食費の値段で提供していると思いますが。

○学校教育課係長（布袋哲朗君） 基本的には、保護者から集めたお金、会計しかないので、野菜の量を減らし、献立内容を検討するような形で対応しています。

○委員（佐藤忠信君） 工夫しているわけですね。

○教育長（杉山英彦君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） その他のほかに何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（杉山英彦君） なければ、平成31年1月の教育委員会を閉会いたします。

午後5時26分閉会